

(様式第 9)

信大病総第 3 2 6 4 号
平成 2 1 年 9 月 3 0 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人

信州大学長 小宮山

信州大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 20 年度の業務に関して報告し

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

| | |
|--------|-----|
| 研修医の人数 | 51人 |
|--------|-----|

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

| 職種 | 常勤 | 非常勤 | 合計 | 職種 | 員数 | 職種 | 員数 |
|-------|------|-----|--------|---------|-----|-------------|------|
| 医師 | 438人 | 20人 | 442.9人 | 看護業務補助 | 6人 | 診療エックス線技師 | 0人 |
| 歯科医師 | 14人 | 1人 | 14.2人 | 理学療法士 | 13人 | 臨床検査技師 | 53人 |
| 薬剤師 | 36人 | 1人 | 36.7人 | 作業療法士 | 9人 | 衛生検査技師 | 2人 |
| 保健師 | 0人 | 0人 | 0.0人 | 視能訓練士 | 5人 | その他 | 0人 |
| 助産師 | 31人 | 2人 | 32.2人 | 義肢装具士 | 0人 | あん摩マッサージ指圧師 | 0人 |
| 看護師 | 576人 | 11人 | 582.3人 | 臨床工学技士 | 6人 | 医療社会事業従事者 | 7人 |
| 准看護師 | 3人 | 0人 | 3.0人 | 栄養士 | 0人 | その他の技術員 | 12人 |
| 歯科衛生士 | 3人 | 0人 | 3.0人 | 歯科技工士 | 2人 | 事務職員 | 139人 |
| 管理栄養士 | 6人 | 0人 | 6.0人 | 診療放射線技師 | 32人 | その他の職員 | 25人 |

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

| | 歯科等以外 | 歯科等 | 合計 |
|--------------|--------|-----|--------|
| 1日当たり平均入院患者数 | 575人 | 8人 | 583人 |
| 1日当たり平均外来患者数 | 1,350人 | 45人 | 1,395人 |
| 1日当たり平均調剤数 | 951剤 | | |

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

| 先進医療の種類 | 届出受理 | 取扱い患者数 |
|--|--------------------------------------|--------|
| 高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。) | <input checked="" type="radio"/> 有・無 | 4人 |
| 顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。) | <input checked="" type="radio"/> 有・無 | 0人 |
| 顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 人工括約筋を用いた尿失禁の治療 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齶蝕の修復に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |

| 先進医療の種類 | 届出受理 | 取扱い患者数 |
|--|----------------------------|--------|
| 乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はパージャール病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。) | <input type="radio"/> 有・無 | 1人 |
| ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。) | <input type="radio"/> 有・無 | 1人 |
| 難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着(ステューブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 神経芽腫のRNA診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のもので限る。))に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 家族性アルツハイマー病の遺伝子診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードVの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |

| 先進医療の種類 | 届出受理 | 取扱い患者数 |
|---|--------------------------------------|--------|
| HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャヤー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャヤー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラレーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時)に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るもの)に限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。) | <input checked="" type="radio"/> 有・無 | 2人 |
| 色素性乾皮症に係る遺伝子診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの)に限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るもの)に限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |

| 先進医療の種類 | 届出受理 | 取扱い患者数 |
|--|--------------------------------------|--------|
| 自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したものに限る。))に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに係るものに限る。) | <input checked="" type="radio"/> 有・無 | 21人 |
| フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治療切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下肢の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小白歯の重度の齲蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |

| 先進医療の種類 | 届出受理 | 取扱い患者数 |
|--|---------------------------------------|--------|
| 内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。) | <input checked="" type="radio"/> 有・無 | 0人 |
| 悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索 | <input checked="" type="radio"/> 有・無 | 50人 |
| カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHIF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

| 疾患名 | 取扱い患者数 | 疾患名 | 取扱い患者数 |
|-------------------|--------|---------------------------|--------|
| ・ベーチェット病 | 63人 | ・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症) | 13人 |
| ・多発性硬化症 | 41人 | ・ウェゲナー肉芽腫症 | 3人 |
| ・重症筋無力症 | 64人 | ・特発性拡張型(うっ血型)心筋症 | 34人 |
| ・全身性エリテマトーデス | 187人 | ・多系統萎縮症 | 11人 |
| ・スモン | 1人 | ・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型) | 1人 |
| ・再生不良性貧血 | 44人 | ・膿疱性乾癬 | 4人 |
| ・サルコイドーシス | 87人 | ・広範脊柱管狭窄症 | 9人 |
| ・筋萎縮性側索硬化症 | 16人 | ・原発性胆汁性肝硬変 | 42人 |
| ・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎 | 122人 | ・重症急性膵炎 | 5人 |
| ・特発性血小板減少性紫斑病 | 24人 | ・特発性大腿骨頭壊死症 | 56人 |
| ・結節性動脈周囲炎 | 25人 | ・混合性結合組織病 | 30人 |
| ・潰瘍性大腸炎 | 89人 | ・原発性免疫不全症候群 | 15人 |
| ・大動脈炎症候群 | 15人 | ・特発性間質性肺炎 | 13人 |
| ・ビュルガー病 | 20人 | ・網膜色素変性症 | 22人 |
| ・天疱瘡 | 14人 | ・プリオン病 | 0人 |
| ・脊髄小脳変性症 | 60人 | ・原発性肺高血圧症 | 4人 |
| ・クローン病 | 70人 | ・神経線維腫症 | 16人 |
| ・難治性の肝炎のうち劇症肝炎 | 10人 | ・亜急性硬化性全脳炎 | 0人 |
| ・悪性関節リウマチ | 10人 | ・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群 | 6人 |
| ・パーキンソン病関連疾患 | 83人 | ・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型) | 4人 |
| ・アミロイドーシス | 96人 | ・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む | 4人 |
| ・後縦靭帯骨化症 | 32人 | ・副腎白質ジストロフィー | 0人 |
| ・ハンチントン病 | 3人 | | |

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

| | | | |
|-------------------------------------|---|-----|---------|
| 臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況 | 1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。 | | |
| 臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度 | 年160回 | | |
| 剖検の状況 | 剖検症例数 | 40例 | 剖検率 12% |

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

(単位:円)

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 |
|---|--------|---------------------------------|------------|-----------------------------------|
| ゲノム医学研究成果の医療への応用に関する研究 | 福嶋 義光 | 医学部遺伝医学・予防医学 | 10,100,000 | 補 文部科学省 委 科学研究費補助金 |
| 活性酸素産生遺伝子NOX1による発がんの制御機構の解明 | 鎌田 徹 | 医学部分子細胞生物学 | 6,400,000 | 補 文部科学省 委 科学研究費補助金 |
| 自然免疫制御因子ASCによるATP代謝制御とオートファジーに伴う細胞死の制御 | 谷口 俊一郎 | 大学院医学系研究科 分子細胞学部門 分子腫瘍学分野 | 6,400,000 | 補 文部科学省 委 科学研究費補助金 |
| ヒアルロン酸-ケモカインを基軸とした幹細胞ニッチ統合支配の分子機構 | 板野 直樹 | 大学院医学系研究科 分子細胞学部門 分子腫瘍学分野 | 2,000,000 | 補 文部科学省 委 科学研究費補助金 |
| 心血管ストレスの感知機構としてのインフラマソームの役割の解明 | 高橋 将文 | 大学院医学系研究科 臓器発生制御医学講座循環器病態学分野 | 9,300,000 | 補 文部科学省 委 科学研究費補助金 |
| 交感神経性血管収縮感受性と中枢性血圧調節適応: 遺伝的・後天的アプローチ | 増木 静江 | 大学院医学系研究科 個体機能学部門 スポーツ医科学分野 | 3,400,000 | 補 独立行政法人 委 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 術中神経モニタリングの定量測定を可能にする脳表電極の開発 | 後藤 哲哉 | 医学部附属病院脳神経外科 | 1,100,000 | 補 独立行政法人 委 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 細胞外マトリックス異常による難聴に関する研究 | 浅村 賢二 | 医学部耳鼻咽喉科学 | 1,000,000 | 補 独立行政法人 委 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 椅子からの立ち上がり動作直後の身体動揺に対するアプローチの効果 | 三好 圭 | 医学部保健学科 理学療法学専攻 応用理学療法学 | 500,000 | 補 独立行政法人 委 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 遺伝子治療用MLVベクターの組み込み指向性を制御する細胞因子の同定 | 塚原 智典 | 医学部免疫・微生物学 | 1,200,000 | 補 独立行政法人 委 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| PPARαノックアウトマウスを用いたアルコール性肝障害の病態解析と治療法の開発 | 田中 直樹 | 大学院医学系研究科 個体機能学部門 代謝制御学分野 | 900,000 | 補 独立行政法人 委 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 重症心不全に対する免疫吸着療法の開発 | 笠井 宏樹 | 医学部附属病院循環器内科 | 1,300,000 | 補 独立行政法人 委 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 脳梗塞後の嗅球における内因性神経幹細胞による構造修復に関する研究 | 川岸 久太郎 | 医学部人体構造学 | 900,000 | 補 独立行政法人 委 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 内耳における遺伝子発現パターンと聴力像に関する研究 | 鈴木 伸嘉 | 医学部附属病院耳鼻咽喉科 | 600,000 | 補 独立行政法人 委 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 分子遺伝学的手法を用いた唾液腺腫瘍の新しい術前診断の試み | 海沼 和幸 | 医学部附属病院耳鼻咽喉科 | 800,000 | 補 独立行政法人 委 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| βB2-クリスタリンによる網膜神経節細胞死制御機構の解明 | 新井 郷子 | 医学部眼科学 | 1,400,000 | 補 独立行政法人 委 日本学術振興会 科学研究費補助金 |

小計16

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 |
|---|--------|-------------------------------|-----------|-----------------------------|
| 介護保険施設入所者のせん妄予測アセスメント指標とせん妄予防ケアプログラムの開発 | 松澤 有夏 | 医学部保健学科 看護学専攻 成人・老年看護学 | 800,000 | ①補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| ITを用いた生活習慣改善に向けた支援プログラムの開発 | 五十嵐 久人 | 医学部保健学科 看護学専攻 広域看護学 | 700,000 | ①補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 心血管系組織の傷害部位を標的とした薬物・遺伝子輸送システムの開発 | 伊勢 裕彦 | 大学院医学系研究科 臓器発生制御医学講座 循環器病態学分野 | 1,800,000 | ①補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| アルブミン合成遺伝子の一塩基多型と持久性トレーニング効果の個体差 | 岡崎 和伸 | 医学部附属病院先端 予防医療センター | 1,800,000 | ①補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 現代保健医療福祉における「予防」実践に関する臨床社会学的研究 | 井口 高志 | 医学部保健学科 看護学専攻 成人・老年看護学 | 600,000 | ①補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 心室筋細胞におけるT管の構造・機能を司る分子群の解析 | 中田 勉 | 医学部分子薬理学 | 1,700,000 | ①補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 潰瘍性大腸炎におけるセレクトリリガンド糖鎖の硫酸化を制御する硫酸転移酵素の解析 | 小林 基弘 | 大学院医学系研究科 臓器発生制御医学講座 分子病理学分野 | 1,600,000 | ①補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 難治性ホジキンリンパ腫の臨床病理学的解析 | 浅野 直子 | 医学部附属病院臨床検査部 | 900,000 | ①補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| MiniSTRおよびMiniPCR-SNP構築と劣化試料への応用に関する研究 | 浅村 英樹 | 医学部法医学 | 1,700,000 | ①補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| Toll様受容体のシグナル伝達阻害による新規メラノーマ分子標的治療の開発 | 後藤 康文 | 医学部附属病院皮膚科 | 2,100,000 | ①補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 皮膚炎症に関わるサイトカインシステムの制御機構 | 新倉 冬子 | 医学部附属病院皮膚科 | 1,700,000 | ①補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 脳内ニューロン新生における隔離ストレスの影響 | 福島 菜奈恵 | 医学部人体構造学 | 900,000 | ①補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 片肺換気による好中球細胞骨格の変化 | 江口 隆 | 医学部附属病院外科 (2) | 2,000,000 | ①補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 三次元流体解析による脳動脈瘤の発生危険度と破裂危険度の予知 | 佐々木 哲郎 | 医学部附属病院脳神経外科 | 2,200,000 | ①補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| ウサギ放射線照射傷害膀胱に対する自己骨髄由来細胞による機能的な膀胱再生への試み | 今村 哲也 | 医学部泌尿器科学領域産学連携学 | 1,500,000 | ①補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 内耳におけるマイクロRNAの網羅的研究 | 西尾 信哉 | 医学部附属病院耳鼻咽喉科 | 1,300,000 | ①補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 低音障害型感音難聴のメカニズムに関する研究 | 福岡 久邦 | 医学部附属病院耳鼻咽喉科 | 2,000,000 | ①補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |

小計17

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 |
|---|--------|-------------------------------|------------|-----------------------------------|
| 眼窩および上下顎の骨格成長における涙腺神経切断の影響に関する研究 | 藤田 研也 | 医学部附属病院形成外科 | 1,500,000 | ③補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 羊膜と口腔上皮細胞による培養上皮シートの開発に関する実験的研究 | 小池 剛史 | 医学部附属病院特殊歯科・口腔外科 | 1,200,000 | ③補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| エチレンオキシド、プロピレンオキシドの生体影響解明の為の疫学調査研究 | 津田 洋子 | 医学部衛生学公衆衛生学 | 1,340,000 | ③補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 人工関節のための新規生体材料であるカーボンナノチューブ・セラミックス複合体の開発 | 齋藤 直人 | 医学部保健学科 理学療法専攻 応用理学療法学 | 9,400,000 | ③補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| マイクロサージェリーのための術者支援ロボットの開発 | 本郷 一博 | 医学部脳神経外科学 | 21,500,000 | ③補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| リンパ行性微小癌転移機構解明のためのリンパ学を基盤とした体系的な研究 | 大橋 俊夫 | 医学部器官制御生理学 | 9,300,000 | ③補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 老人性難聴に対する分子遺伝学的アプローチ | 宇佐美 真一 | 医学部耳鼻咽喉科学 | 3,600,000 | ③補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 神経膠腫で発現するコンドロイチン硫酸Eの機能解析 | 中山 淳 | 大学院医学系研究科臓器発生制御医学講座 分子病理学分野 | 3,500,000 | ③補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| カンボジアにおける母子健康手帳を用いた妊婦登録システムの開発とその効果測定 | 柳澤 理子 | 医学部保健学科 看護学専攻 広域看護学 | 3,300,000 | ③補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 潰瘍性大腸炎モデルとしてのSAM系マウスの特性解析および改良 | 森 政之 | 大学院医学系研究科分子細胞学部門 加齢生物学分野 | 4,000,000 | ③補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 正期産母子に対する分娩直後のカンガルーケアの問題と安全性並びに快適性に関する研究 | 坂口 けさみ | 医学部保健学科 看護学専攻 小児・母性看護学 | 2,100,000 | ③補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| モデル動物を用いたアミロイドシスの体系的解析 | 樋口 京一 | 大学院医学系研究科分子細胞学部門 加齢生物学分野 | 6,100,000 | ③補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| RAMPIによる代謝、血管制御メカニズムの解明と、代謝異常、血管合併症治療への展開 | 新藤 隆行 | 大学院医学系研究科臓器発生制御医学講座 発生再生生物学分野 | 5,100,000 | ③補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 新規糖鎖結合分子による標的心血管組織への細胞・遺伝子・薬物輸送システムの開発 | 池田 宇一 | 大学院医学系研究科臓器発生制御医学講座 循環器病態学分野 | 6,100,000 | ③補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 網膜浮腫をおこすノックアウトマウスを用いた糖尿病黄斑浮腫の新しい治療法の開発 | 村田 敏規 | 医学部眼科学 | 4,400,000 | ③補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| ヘリコバクター・ハイルマニー感染症解明の分離培養法確立と臨床細菌学的研究 | 川上 由行 | 医学部保健学科 検査技術科学専攻 病原・病態検査学 | 500,000 | ③補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 自己炎症性疾患の臨床分子免疫病理学的研究 | 増本 純也 | 医学部病理組織学 | 500,000 | ③補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |

小計17

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 |
|--|--------|-------------------------------|-----------|----------------------------|
| 睡眠時無呼吸症候群簡易検査法開発と生活習慣病との因果関係解明の為の疫学研究 | 野見山 哲生 | 医学部衛生学公衆衛生学 | 700,000 | ①補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 動物実験モデルを用いた小児急性脳脊髄炎に対する骨髄幹細胞移植療法の開発 | 市川 元基 | 医学部保健学科 看護学専攻 小児・母性看護学 | 800,000 | ①補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| わが国における遺伝医療の倫理ガイドライン作成に関する研究 | 福嶋 義光 | 医学部遺伝医学・予防医学 | 1,100,000 | ①補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 骨伝導聴覚刺激による脳波応用意思伝達システムの基礎的研究 | 千島 亮 | 医学部保健学科 作業療法学専攻 基礎作業療法学 | 1,100,000 | ①補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 消化管および肝臓におけるアルコール依存的炎症性障害の分子機構の解明と予防法の開発 | 青山 俊文 | 大学院医学系研究科 個体機能学部門 代謝制御学分野 | 1,100,000 | ①補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| クロマチンリモデリング因子ATRXの異常に関連した染色体テロリーの核内配置解析 | 和田 敬仁 | 医学部衛生学公衆衛生学 | 1,500,000 | ①補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| リンパ管形成場としての腫瘍間質の分子病理学的検討 | 板野 直樹 | 大学院医学系研究科 分子細胞学部門 分子腫瘍学分野 | 1,300,000 | ①補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 炎症と細胞死を制御するASCに着目したピロリ菌感染と宿主応答の解析 | 谷口 俊一郎 | 大学院医学系研究科 分子細胞学部門 分子腫瘍学分野 | 1,700,000 | ①補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 自然免疫系細胞の分化成熟のメカニズムとその破綻による獲得免疫異常の研究 | 瀧 伸介 | 大学院医学系研究科 移植免疫感染症学講座 免疫制御学分野 | 1,000,000 | ①補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| シトルリン化フィブリノゲンの凝固・線溶機能異常とその病因との関係 | 奥村 伸生 | 医学部保健学科 検査技術科学専攻 病因・病態検査学 | 1,700,000 | ①補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| B型肝炎の抗ウイルス療法における血中RNA遺伝子量測定の意義 | 田中 榮司 | 医学部内科学第二 | 800,000 | ①補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 心血管疾患におけるSDF-1/CXCR4システムの役割の解明と治療への応用 | 高橋 将文 | 大学院医学系研究科 臓器発生制御医学講座 循環器病態学分野 | 1,500,000 | ①補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 肺気腫の発症に関与する遺伝子の解明 | 花岡 正幸 | 医学部内科学第一 | 1,500,000 | ①補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 16番染色体長腕に連鎖する優性遺伝性脊髄小脳変性症の分子遺伝学的研究 | 吉田 邦広 | 大学院医学系研究科 分子細胞学部門 神経可塑性学分野 | 1,100,000 | ①補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 好塩基球の増殖およびサイトカイン産生機構の解明とその制御 | 肥田 重明 | 大学院医学系研究科 移植免疫感染症学講座 免疫制御学分野 | 1,700,000 | ①補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| ヒトメラノーマにおける腫瘍拒絶能と制御性T細胞による腫瘍エスケープ機構の解明 | 木庭 幸子 | 医学部皮膚科学 | 1,500,000 | ①補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 組織幹細胞と胚性幹細胞の2実験系による肝・膵細胞の分化誘導と膵β細胞への分化転換 | 宮川 眞一 | 医学部外科学(1) | 800,000 | ①補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費補助金 |

小計17

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 |
|--|--------|-------------------------------------|-----------|----------------------------------|
| 肝細胞癌特異的結合ペプチド付加抗癌剤の開発 | 小林 聡 | 医学部附属病院外科(1) | 700,000 | 補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 脳内伝導路の自然再生の再検討 | 森泉 哲次 | 医学部人体構造学 | 1,000,000 | 補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 子宮内膜癌において新たに同定されたlipocalin2過剰発現の機能解析 | 塩沢 丹里 | 医学部産科婦人科学 | 1,700,000 | 補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| ROPマウス網膜のプロテオミクス トラジェクトリの構築と毛細血管再 形成機序の解明 | 羽二生 久夫 | 医学部統合生理学 | 1,300,000 | 補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| APP細胞内ドメインの神経毒性解 析のためのトランスジェニックマウ スの作製 | 中山 耕造 | 医学部人体構造学 | 1,900,000 | 補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| ヒト胎児肝細胞におけるCYP3A 分子種の発現変動要因の解明 | 松永 民秀 | 医学部附属病院薬剤 部 | 3,100,000 | 補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 構成的染色体異常部位近傍の候 補遺伝子の核内3次元配置の変 化と位置効果に関する研究 | 涌井 敬子 | 医学部遺伝医学・予 防医学 | 1,500,000 | 補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 多機能に関わるアドレノメデュリ ン-RAMPシステムの発生工学的 病態解析と治療検討 | 桜井 敬之 | 大学院医学系研究科 臓器発生制御医学講 座発生再生医学分野 | 1,500,000 | 補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| ヘリコバクター・ハイルマニ関連胃 粘膜病変の病態解析と菌体の病 原性解析 | 太田 浩良 | 医学部保健学科 検 査技術科学専攻 生 体情報検査学 | 1,400,000 | 補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 老人性全身性アミロイドーシスに 対するTTR蛋白安定化を介した新 規薬物療法の確立 | 関島 良樹 | 医学部附属病院遺伝 子診療部 | 2,300,000 | 補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 老人性全身性(心)アミロイドーシ スの簡便かつ非侵襲的な診断法 の確立に関する研究 | 池田 修一 | 医学部内科学第三 | 1,800,000 | 補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 慢性心不全患者における免疫異常 と自律神経異常の相互連関に 関する研究 | 伊澤 淳 | 大学院医学系研究科 臓器発生制御医学講 座循環器病態学分野 | 1,500,000 | 補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 上肢の中枢性運動障害を生じる 脊髄神経機構への異常支配と機 能回復過程でのその再構築 | 森田 洋 | 医学部附属病院卒後 臨床研修センター | 1,800,000 | 補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 筋肉、脂肪組織におけるPPAR δ 概日リズム発現の意義と機能の 解明 | 柿澤 供子 | 医学部附属病院加齢 総合診療科 | 1,500,000 | 補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 肢端黒色腫の分子標的治療 | 高田 実 | 医学部皮膚科学 | 1,100,000 | 補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 癌特異的結合ペプチドを用いた消 化器癌に対する標的化治療 | 石曾根 聡 | 医学部附属病院外科 (1) | 1,400,000 | 補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 遺伝性肝疾患に対する骨髄細胞 移植療法の開発 | 中田 岳成 | 医学部附属病院外科 (1) | 1,400,000 | 補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |

小計17

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 |
|--|---------|--------------------------|-----------|-----------------------------------|
| 膀胱蓄尿機能障害に対する新規治療戦略の探索 | 井川 靖彦 | 医学部泌尿器科学 | 1,600,000 | ①補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 間質性膀胱炎の遺伝子発現解析とバイオマーカーの検討 | 西沢 理 | 医学部泌尿器科学 | 1,900,000 | ①補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 自家骨髄幹細胞移植による膀胱再生療法 | 石塚 修 | 医学部泌尿器科学 | 1,700,000 | ①補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 卵巣癌における癌抑制遺伝子INT6、VHLおよびHIF発現とその機能解析 | 長田 亮介 | 医学部附属病院産科婦人科 | 1,400,000 | ①補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 卵巣癌における脱メチル化によるS100A発現調節機序解析 | 菊地 範彦 | 医学部附属病院産科婦人科 | 1,400,000 | ①補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 卵巣癌における脱メチル化によるS100A発現調節機序解析 | 塩沢 丹里 | 医学部産科婦人科学 | 1,400,000 | ①補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 細胞外マトリックスによる難聴に関する基礎的、臨床的研究 | 工 穰 | 医学部附属病院耳鼻咽喉科 | 1,700,000 | ①補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 認知機能低下に伴う転倒リスクの評価指標「地域版二重課題歩行」の開発 | 征矢野 あや子 | 医学部保健学科 看護学専攻 広域看護学 | 600,000 | ①補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 精神障害者における暴力のリスク評価のための評価ツールに関する研究 | 下里 誠二 | 医学部保健学科 看護学専攻 広域看護学 | 800,000 | ①補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 簡易版漸進的筋弛緩法の作成とがん患者への介入の効果に関する研究 | 近藤 由香 | 医学部保健学科 看護学専攻 成人・老年看護学 | 500,000 | ①補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 炎症性腸管疾患の脂質およびアポ蛋白代謝機序と質量分析による病態指標検査法の開発 | 日高 宏哉 | 医学部保健学科 検査技術科学専攻 生体情報検査学 | 1,700,000 | ①補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 小児のメタボリックシンドロームの診断基準策定と新たな生活習慣病予防医療の開発 | 本郷 実 | 医学部保健学科 看護学専攻 成人・老年看護学 | 700,000 | ①補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 糖尿病網膜の黄斑部無灌流領域での毛細血管の再生による網膜機能保護効果 | 村田 敏規 | 医学部眼科学 | 700,000 | ①補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 脳卒中者への在宅生活支援チーム・アプローチとしての訪問リハビリプログラムの開発と評価 | 上村 智子 | 医学部保健学科 作業療法学専攻 実践作業療法学 | 700,000 | ①補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 自己骨髄細胞移植による尿失禁治療 | 杵渕 芳明 | 医学部泌尿器科学 | 700,000 | ①補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 聴覚・平衡覚・嗅覚刺激が脳機能に及ぼす影響に関する研究 | 宇佐美 真一 | 医学部耳鼻咽喉科学 | 1,100,000 | ①補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |
| 病気の子どもの自分らしさの探索獲得プロセスに関する研究 | 鈴木 泰子 | 医学部保健学科 看護学専攻 小児・母性看護学 | 1,000,000 | ①補委 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 |

小計17

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 | |
|--|--------|--------------------------|------------|----------|-------------------|
| 難治性心不全に対する免疫吸着療法の開発 | 池田 宇一 | 医学系研究科臓器発生制御医学講座循環器病態学分野 | 9,479,000 | 補 委 | 厚生労働省 科学研究費補助金 |
| 難治性血管炎に対する血管再生療法の多施設共同研究 | 池田 宇一 | 医学系研究科臓器発生制御医学講座循環器病態学分野 | 29,000,000 | 補 委 | 厚生労働省 科学研究費補助金 |
| 慢性寄生虫感染症の侵入監視及びその健康管理体制の確立 | 高本 雅哉 | 医学系研究科移植免疫感染症学講座感染防御学分野 | 2,000,000 | 補 委 | 厚生労働省 科学研究費補助金 |
| アミロイドーシスに関する調査研究 | 樋口 京一 | 医学系研究科分子細胞学部門加齢生物学分野 | 1,400,000 | 補 委 | 厚生労働省 科学研究費補助金 |
| 運動失調症の病態解明と治療法開発に関する研究 | 吉田 邦広 | 医学系研究科分子細胞学部門神経可塑性学分野 | 1,200,000 | 補 委 | 厚生労働省 科学研究費補助金 |
| 悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索 | 斉田 俊明 | 医学部皮膚科学 | 5,500,000 | 補 委 | 厚生労働省 科学研究費補助金 |
| 関節リウマチ上肢人工関節に関する研究 | 加藤 博之 | 医学部運動機能学 | 1,300,000 | 補 委 | 厚生労働省 科学研究費補助金 |
| 原発性免疫不全症候群に関する調査研究 | 上松 一永 | 医学系研究科移植免疫感染症学講座感染防御学分野 | 1,500,000 | 補 委 | 厚生労働省 科学研究費補助金 |
| 医療ネグレクトにおける医療・福祉・司法が連携した対応のあり方に関する研究 | 野見山 哲夫 | 医学部衛生学公衆衛生学 | 2,200,000 | 補 委 | 厚生労働省 科学研究費補助金 |
| 免疫性神経疾患に関する調査研究 | 高 昌星 | 医学部保健学科検査技術科学専攻生体情報検査学 | 1,000,000 | 補 委 | 厚生労働省 科学研究費補助金 |
| 免疫性神経疾患に関する調査研究 | 池田 修一 | 医学部内科学第三 | 1,000,000 | 補 委 | 厚生労働省 科学研究費補助金 |
| スモンに関する調査研究 | 池田 修一 | 医学部内科学第三 | 800,000 | 補 委 | 厚生労働省 科学研究費補助金 |
| 重症難病患者の地域医療体制の構築に関する研究 | 池田 修一 | 医学部内科学第三 | 900,000 | 補 委 | 厚生労働省 科学研究費補助金 |
| アミロイドーシスに関する調査研究 | 池田 修一 | 医学部内科学第三 | 1,400,000 | 補 委 | 厚生労働省 科学研究費補助金 |
| リツキシマブ+ステロイド併用悪性リンパ腫治療中のB型肝炎ウイルス再活性化への対策に関する研究 | 田中 榮司 | 医学部内科学第二 | 1,000,000 | 補 委 | 厚生労働省 科学研究費補助金 |
| 肝硬変を含めたウイルス性肝疾患の治療を標準化に関する研究 | 田中 榮司 | 医学部内科学第二 | 2,000,000 | 補 委 | 厚生労働省 科学研究費補助金 |
| NK細胞に対する腫瘍に対する東アジア多国籍間治療研究 | 石田 文宏 | 医学部内科学第二 | 500,000 | 補 委 | 厚生労働省 科学研究費補助金 |

小計17

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 | |
|---|--------|-----------------------------|------------|----------|----------------------------|
| 呼吸不全に関する調査研究 | 久保 恵嗣 | 医学部内科学第一 | 1,300,000 | 補 委 | 厚生労働省 科学研究費補助金 |
| 薬剤性肺障害の発現状況の国際比較に関する研究 | 久保 恵嗣 | 医学部内科学第一 | 6,375,000 | 補 委 | 厚生労働省 科学研究費補助金 |
| ベーチェット病に関する調査研究 | 太田 正穂 | 医学部法医学 | 800,000 | 補 委 | 厚生労働省 科学研究費補助金 |
| 早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究 | 西沢 理 | 医学部泌尿器科学 | 1,000,000 | 補 委 | 厚生労働省 科学研究費補助金 |
| がんの診療科データベースとJNCDBの運用と構築 | 鹿間 直人 | 医学部画像医学 | 1,000,000 | 補 委 | 厚生労働省 科学研究費補助金 |
| 肝癌早期発見を目的とした分子マーカーおよび画像診断システムの開発 | 角谷 眞澄 | 医学部画像医学 | 2,500,000 | 補 委 | 厚生労働省 科学研究費補助金 |
| 急性高度難聴に関する調査研究 | 宇佐美 真一 | 医学部耳鼻咽喉科 | 1,000,000 | 補 委 | 厚生労働省 科学研究費補助金 |
| サブタイプ分類に基づく小児難聴診断、療育システム構築 | 宇佐美 真一 | 医学部耳鼻咽喉科 | 15,000,000 | 補 委 | 厚生労働省 科学研究費補助金 |
| 重篤な日和見感染症の早期発見と最適治療に関する研究 | 山崎 善隆 | 附属病院内視鏡診療部 | 2,200,000 | 補 委 | 厚生労働省 科学研究費補助金 |
| ヘモジタランスのための病院内輸血副作用監視体制に関する研究 | 下平 滋隆 | 附属病院 輸血部 | 400,000 | 補 委 | 厚生労働省 科学研究費補助金 |
| 院内血液製剤の適正な製造体制・順守規準に関する研究 | 下平 滋隆 | 附属病院 輸血部 | 600,000 | 補 委 | 厚生労働省 科学研究費補助金 |
| 受容体活性調節タンパクの機能解明と血管新生および血管合併症治療への応用 | 新藤 隆行 | 大学院医学系研究科臓器発生制御医学講座発生再生医学分野 | 16,000,000 | 補 委 | 独立行政法人 科学技術振興機構 受託研究 |
| ビフィズス菌を用いた抗がん剤プラットフォーム技術の開発 | 谷口 俊一郎 | 大学院医学系研究科分子細胞学部門分子腫瘍学分野 | 10,000,000 | 補 委 | 独立行政法人 科学技術振興機構 受託研究 |
| ピロリ菌を増殖抑制させる糖鎖を含んだ機能性食品添加剤の開発 | 中山 淳 | 大学院医学系研究科臓器発生制御医学講座分子病理学分野 | 33,100,000 | 補 委 | 独立行政法人 科学技術振興機構 受託研究 |
| 牛乳摂取によるリン脂質分子種およびリソリン脂質の血漿中分布 | 日高 宏哉 | 医学部保健学科検査技術科学専攻生体情報検査学 | 1,500,000 | 補 委 | 社団法人 日本酪農乳業協会 受託研究 |
| LMP2を用いた子宮平滑筋肉腫の新規鑑別法の開発 | 林 琢磨 | 大学院医学系研究科移植免疫感染症学講座免疫制御学分野 | 2,728,000 | 補 委 | 独立行政法人 科学技術振興機構 受託研究 |
| 生理活性ペプチドを用いたメタボリックシンドローム合併症に対する新規組織保護再生治療法の開発 | 新藤 隆行 | 大学院医学系研究科臓器発生制御医学講座発生再生医学分野 | 1,500,000 | 補 委 | 国立循環器病センター 受託研究 |

小計17

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 | |
|--|-------|-----------------------------|------------|-------------|-------------------------|
| 慢性心不全の呼吸異常の成因解明と定量評価法開発 | 池田 宇一 | 医学系研究科臓器発生制御医学講座循環器病態学分野 | 1,100,000 | 補 ⑤ 委 | 国立循環器病センター 受託研究 |
| 循環器系シグナローム解析による疾患・病態解明のための基盤研究 | 新藤 隆行 | 大学院医学系研究科臓器発生制御医学講座発生再生医学分野 | 2,000,000 | 補 ⑤ 委 | 国立循環器病センター 受託研究 |
| 工業ナノ粒子有害性評価試験の開発(ナノ粒子の全身影響の観点からの有害性影響評価法の開発) | 小山 省三 | 医学部 統合生理学 | 7,825,650 | 補 ⑤ 委 | 独立行政法人産業技術総合研究所 受託研究 |
| 精神遅滞リサーチ・リソースの拡充と病因・病態解明をめざした遺伝学的研究 | 和田 敬仁 | 医学部 衛生学公衆衛生学 | 1,500,000 | 補 ⑤ 委 | 国立精神・神経センター 受託研究 |
| 難治性ニューロパチーの病態に基づく新規治療法の開発 | 池田 修一 | 医学部内科学第三 | 750,000 | 補 ⑤ 委 | 国立精神・神経センター 受託研究 |
| 米および穀類等の液状化による機能性食品素材の開発 | 川上 由行 | 医学部保健学科検査技術科学専攻病因・病態検査学 | 1,550,000 | 補 ⑤ 委 | 社団法人長野県農村工業研 受託研究 |
| 自動車運転映像を用いた認知行動評価装置の開発 | 小林 正義 | 医学部保健学科作業療法学専攻基礎作業療法学 | 1,740,000 | 補 ⑤ 委 | 独立行政法人科学技術振興機構 受託研究 |
| 顎骨萎縮患者用人工歯根の開発 | 栗田 浩 | 医学部歯科口腔外科学 | 1,740,000 | 補 ⑤ 委 | 独立行政法人科学技術振興機構 受託研究 |
| IgA-アルブミン複合体量の測定法の開発 | 藤田 清貴 | 医学部保健学科検査技術科学専攻病因・病態検査学 | 1,740,000 | 補 ⑤ 委 | 独立行政法人科学技術振興機構 受託研究 |
| ステロール含有脂質ナノミセルの開発と褥瘡治療への応用 | 板野 直樹 | 大学院医学系研究科分子細胞学部門分子腫瘍学分野 | 1,740,000 | 補 ⑤ 委 | 独立行政法人科学技術振興機構 受託研究 |
| ナノバイオテクノロジーによる高機能人工関節摺動部材の開発 | 齋藤 直人 | 医学部保健学科理学療法学専攻応用理学療法学 | 31,114,650 | 補 ⑤ 委 | 独立行政法人新エネルギー・産 受託研究 |

小計11
計146

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|----------------------------|---|-------------|-----------|
| Respirology | Enhanced levels of prostaglandin E2 and matrix metalloproteinase-2 correlate with the severity of airflow limitation in stable COPD. | Chen Y | 呼吸器・感染症内科 |
| Intern Med | Mechanical ventilation in patients with hypoxemia due to refractory heart failure. | Chen Y | 呼吸器・感染症内科 |
| Wilderness Environ Med | Adaptation to high altitude in Sherpas: association with the insertion/deletion polymorphism in the Angiotensin-converting enzyme gene. | Droma Y | 呼吸器・感染症内科 |
| Aviat Space Environ Med | Two hypoxia sensor genes and their association with symptoms of acute mountain sickness in Sherpas. | Droma Y | 呼吸器・感染症内科 |
| Respirology | Pulmonary haemodynamic changes in patients with severe COPD. | Hanaoka M | 呼吸器・感染症内科 |
| Chest | Leptin and leptin receptor gene polymorphisms in obstructive sleep apnea syndrome. | Hanaoka M | 呼吸器・感染症内科 |
| Allergol | Selective IgM deficiency accompanied with IgG4 deficiency, dermal complications and a bronchial polyp. | Ideura G | 呼吸器・感染症内科 |
| Intern Med | The association of transforming growth factor beta 1 gene polymorphisms with the emphysema phenotype of COPD in Japanese. | Ito M | 呼吸器・感染症内科 |
| Am J Cardiol | Risk stratification assessed by combined lung and heart iodine-123 metaiodobenzylguanidine uptake in patients with idiopathic dilated cardiomyopathy. | Kamiyoshi Y | 呼吸器・感染症内科 |
| Intern Med | Lymphoid interstitial pneumonia associated with common variable immunoglobulin deficiency. | Matsubara M | 呼吸器・感染症内科 |
| Intern Med | Pleomorphic adenoma with an endobronchial resection. | Matsubara M | 呼吸器・感染症内科 |
| J Appl Physiol | Cytosolic phospholipase A2 and arachidonic acid metabolites modulate ventilator-induced permeability increases in isolated mouse lungs. | Miyahara T | 呼吸器・感染症内科 |
| Radiat Med | Lymphoscintigraphy using technetium-99m HSA-DTPA with SPECT/CT in chylothorax after childbirth. | Momose M | 呼吸器・感染症内科 |
| Lung | Otagiri T: Effects of high-frequency oscillatory ventilation on oleic acid-induced lung injury in sheep. | Nakagawa R | 呼吸器・感染症内科 |
| Cancer Chemother Pharmacol | Cisplatin and weekly docetaxel with concurrent thoracic radiotherapy for locally advanced stage III non-small-cell lung cancer. | Nakamura M | 呼吸器・感染症内科 |

小計15

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|------------------|--|--------------|-----------|
| Clin Exp Allergy | Modulation of mucus production by interleukin-13 receptor alpha2 in the human airway epithelium. | Tanabe T | 呼吸器・感染症内科 |
| Intern Med | Mediastinal seminoma in a patient with multiple endocrine neoplasia type 1. | Tanabe T | 呼吸器・感染症内科 |
| Respirology | Radiological diagnosis of small pulmonary nodules detected on low-dose screening computed tomography. | Tsushima K | 呼吸器・感染症内科 |
| Respirology | Airway inflammation in employees involved in cultivating Japanese mushrooms (bunashimeji). | Tsushima K | 呼吸器・感染症内科 |
| Respirology | Reduced lung uptake of iodine-123 metaiodobenzylguanidine in high-altitude pulmonary oedema. | Urushihata K | 呼吸器・感染症内科 |
| Intern Med | A rare case of a tracheal fibroepithelial polyp treated by an endobronchial resection. | Ushiki A | 呼吸器・感染症内科 |
| Intern Med | Primary tracheal adenoid cystic carcinoma with malignant pleural effusion. | Yasuo M | 呼吸器・感染症内科 |
| Intern Med | Progressive pulmonary calcification after successful renal transplantation. | Yasuo M | 呼吸器・感染症内科 |
| Cardiovasc Res | Deficiency of tumor necrosis factor-alpha and interferon-gamma in bone marrow cells synergistically inhibits neointimal formation following vascular injury. | Murayama H | 循環器内科 |
| Cardiovasc Res | High-mobility group box 1 protein (HMBG1) in ischemic heart disease: beneficial or deleterious? (Editorial)/ | Takahashi M | 循環器内科 |
| Circulation | Critical role of bone marrow-derived ASC, an inflammasome adaptor molecule, in neointimal formation after vascular injury in mice. | Yajima N | 循環器内科 |
| Cardiovasc Res | MCP-1 induces cardioprotection against ischemia/reperfusion injury: Role of reactive oxygen species. | Morimoto H | 循環器内科 |
| Circ J | Fluvastatin improves arterial stiffness in patients with coronary artery disas and hyperlipidemia: A 5-year follow-up study. | Hongo M | 循環器内科 |
| Exp Opin Biol | Changes in angiogenesis-related factors in serum following autologous bone marrow cell implantation for severe limb ischemia. | Tachi Y | 循環器内科 |
| Am J Cardiol | Risk stratification assessed by combined lung and heart iodine-123 metaiodobenzylguanidine uptake in patients with idiopathic dilated cardiomyopathy. | Kamiyoshi Y | 循環器内科 |

小計15

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|----------------------------|--|---------------------|-------|
| Curr Pharm Design | Models for the study of angiogenesis. | Shiba Y | 循環器内科 |
| Biochem Biophys Res Commun | Glucose deprivation accelerates VLDL receptor-mediated TG-rich lipoprotein uptake by AMPK activation in skeletal muscle cells. | Zenimaru Y | 循環器内科 |
| Carcinogenesis | Bone marrow-derived cell fuses with hepatic oval cells but are not involved in hepatic tumorigenesis in the choline-deficient methionine-supplemented diet rat model. | Kubota K | 循環器内科 |
| Angiology | Gigantic bronchial artery aneurysm treated with transcatheter arterial embolization: A case report. | Yajima N | 循環器内科 |
| Int J Cardiol | Relationship of plasma brain-type natriuretic peptide levels to left ventricular longitudinal function in patients with congestive heart failure assessed by strain Doppler imaging. | Yoneyama A | 循環器内科 |
| Angiology | Successful treatment of primary cardiac angiosarcoma with docetaxel and radiotherapy. | Nakamura-Horigome M | 循環器内科 |
| Nat Cell Biol | A crucial role of a high mobility group protein HMGA2 in cardiogenesis. | Monzen K | 循環器内科 |
| J Gene Med | Adeno-associated virus vector-mediated systemic interleukin-10 expression ameliorates hypertensive organ damage in Dahl salt-sensitive rats. | Nonaka-Sarukawa M | 循環器内科 |
| Current Cardiology Reviews | Immunoadsorption therapy for patients with dilated cardiomyopathy and heart failure. | Ikeda U | 循環器内科 |
| Eur J Haemato | Promising approach for aggressive NK cell leukaemia with allogeneic haematopoietic cell transplantation. | Ito T | 内科(2) |
| Intern Med | Peripheral T-cell lymphoma following diffuse large B-cell lymphoma associated with celiac disease. | Makishima H | 内科(2) |
| Blood | Age-related Epstein-Barr virus (EBV)-associated B-cell lymphoproliferative disorders: comparison with EBV-positive classic Hodgkin lymphoma in elderly patients. | Asano N | 内科(2) |
| Intern Med | Linear calcification in the cortico-medullary junction of the kidney. | Okubo K | 内科(2) |
| Current Cardiology Review | Immunoadsorption Therapy for Patients with Dilated Cardiomyopathy and Heart Failure. | Ikeda U | 内科(2) |
| Am J Physiol Renal Physiol | PPAR(alpha) attenuates the proinflammatory response in activated mesangial cells. | Kono K | 内科(2) |

小計15

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|----------------------------------|--|-------------|-------|
| Intern Med | Small cell carcinoma of the extrahepatic bile duct diagnosed with EUS-FNA and effectively treated with chemoradiation. | Arakura N, | 内科(2) |
| Intern Med | Zygomycosis presenting as acute myocardial infarction during hematological malignancies. | Joshita S | 内科(2) |
| J Mol Histol | Altered expression of CDX-2, PDX-1 and mucin core proteins in "Ulcer-associated cell lineage (UACL)" in Crohn's disease. | Kaneko Y | 内科(2) |
| J Hepato | Citrin deficiency as a cause of chronic liver disorder mimicking non-alcoholic fatty liver disease. | Komatsu M | 内科(2) |
| Clinical journal of Gastroentero | Development from simple steatosis to liver cirrhosis and hepatocellular carcinoma: a 27-year follow-up case. | Nagaya T | 内科(2) |
| Biochem Pharmacol | Cholesterol-lowering effect of bezafibrate is independent of peroxisome proliferator-activated receptor activation in mice. | Nakajima T | 内科(2) |
| J Gastroenterol | Differentiation of autoimmune pancreatitis from suspected pancreatic cancer by fluorine-18 fluorodeoxyglucose positron emission tomography. | Ozaki Y | 内科(2) |
| Hepatology | Pretreatment prediction of virological response to peginterferon plus ribavirin therapy in chronic hepatitis C patients using viral and host factors. | Shirakawa H | 内科(2) |
| Life Sci | Eicosapentaenoic acid lowers plasma and liver cholesterol levels in the presence of peroxisome proliferators-activated receptor alpha. | Sugiyama E | 内科(2) |
| Clin J Gastroentero | History and prevention of de novo hepatitis B virus-related hepatitis in Japan and the world. | Tanaka E | 内科(2) |
| Intervirology | Hepatitis B core-related antigen assay is useful for monitoring the antiviral effects of nucleoside analogue therapy. | Tanaka E | 内科(2) |
| Am J Gastroenterol | Pancreatic exocrine insufficiency: a rare cause of nonalcoholic steatohepatitis. | Tanaka N | 内科(2) |
| Liver Int | Insulin resistance and hepatitis C virus: a case-control study of non-obese, non-alcoholic and non-steatotic hepatitis virus carriers with persistently normal serum aminotransferase. | Tanaka N | 内科(2) |
| Am J Gastroenterol | Association of autoimmune pancreatitis with cytotoxic T-lymphocyte antigen 4 gene polymorphisms in Japanese patients. | Umemura T | 内科(2) |
| Hepato Res | Association of cytotoxic T-lymphocyte antigen 4 gene polymorphisms with type 1 autoimmune hepatitis in Japanese. | Umemura T | 内科(2) |

小計15

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|----------------------------------|---|-------------|-------|
| Clin Infect Dis | Mortality secondary to fulminant hepatic failure in patients with prior resolution of hepatitis B virus infection in Japan. | Umemura T | 内科(2) |
| Clin Transplant | De novo autoimmune hepatitis following living-donor liver transplantation for primary biliary cirrhosis. | Yoshizawa K | 内科(2) |
| Hepatol Res | A case of well-differentiated cholangiocellular carcinoma visualized with contrast-enhanced ultrasonography using Sonazoid. | Joshita S | 内科(2) |
| J.Gastroenterol | Epidemiology of hepatocellular carcinoma in Japan. | Umemura T | 内科(2) |
| Clin Gastroenterol Hepatol | Hepatitis C virus, splenic vein thrombosis, and lymphoma. | Tanaka N | 内科(2) |
| Intern Med | Granulocyte-colony stimulating factor-producing pancreatic adenocarcinoma showing aggressive clinical course. | Joshita S | 内科(2) |
| J Hepatol | Polyenephosphatidylcholine prevents alcoholic liver disease in PPARalpha-null mice through attenuation of increases in oxidative stress. | Okiyama W | 内科(2) |
| Mol Pharmacol | Bezafibrate at clinically relevant doses decreases serum/liver triglycerides via down-regulation of sterol regulatory element-binding protein-1c in mice: a novel peroxisome proliferator-activated | Nakajima T | 内科(2) |
| 臨床血液 | 骨髄移植後のキメリズム解析を不可能にした再発時付加染色体異常 | 樋口由美子 | 内科(2) |
| Intern Med | Spinal epidural abscess with osteomyelitis as a cause of bacterial meningitis. | Fukushima K | 内科(3) |
| J Neurol Neurosurg Psychiatry | Neurological picture. Portal-systemic encephalopathy in a non-cirrhotic patient. | Fukushima K | 内科(3) |
| Intern Med | Adult onset X-linked chronic granulomatous disease in a woman patient caused by a de novo mutation in paternal-origin CYBB gene and skewed inactivation of normal maternal X | Gono T | 内科(3) |
| Intern Med | Flow cytometric analysis of lymphocyte subpopulations and Th1/Th2 balance in patients with polymyositis and dermatomyositis. | Ishii W | 内科(3) |
| J Clin Oncol | Intravascular large B-cell lymphoma with acute abdomen as a presenting symptom in a patient with systemic lupus erythematosus. | Ishii W | 内科(3) |
| Amyloid | Cortical petechial hemorrhage subarachnoid hemorrhage and corticosteroid-responsive leukoencephalopathy in a patient with cerebral amyloid angiopathy. | Machida K | 内科(3) |

小計15

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|-----------------------|---|-------------|-------|
| Intern Med | Nephrotic syndrome due to primary systemic AL amyloidosis, successfully treated with VAD (vincristine, doxorubicin and dexamethasone) alone. | Matsuda M | 内科(3) |
| Amyloid | AL amyloidosis manifesting as systemic lymphadenopathy. | Matsuda M | 内科(3) |
| Amyloid | AH amyloidosis associated with an immunoglobulin heavy chain variable region(VH1) fragment: A case report. | Miyazaki D | 内科(3) |
| Psychiat Clin Neuros | Size Variance of Motor evoked potential at initiation of voluntary contraction in palsy of conversion disorder. | Morita H | 内科(3) |
| J Clin Neurosci. | Follow-up of three patients with a large in-frame deletion of exons 45-55 in the Duchenne muscular dystrophy (DMD) gene. | Nakamura A | 内科(3) |
| J Neurol | Ten-year follow-up of peripheral nerve function in patients with familial amyloid polyneuropathy after liver transplantation. | Shimajima Y | 内科(3) |
| Intern Med | Therapeutic outcome of cyclic VAD(vincristine, doxorubicin and dexamethasone) therapy in primary systemic AL amyloidosis patients. | Tazawa K | 内科(3) |
| Muscle Nerve | Amyloidogenic transthyretin Val30Met homozygote showing unusually early-onset familial amyloid polyneuropathy. | Tojo K | 内科(3) |
| Liver Transpl | Marked regression of abdominal fat amyloid in patients with familial amyloid polyneuropathy during long-term follow-up after liver transplantation. | Tsuchiya A | 内科(3) |
| J Clin Gastroenterol. | Primary liver carcinoma exhibiting dual hepatocellular-biliary epithelial differentiations associated with citrin deficiency: a case report. | Soeda J | 内科(3) |
| Intern Med | An unusual case of Klippel-Trénaunay-Weber syndrome presenting with portosystemic encephalopathy. | Yazaki M | 内科(3) |
| Intern Med | Systemic AL amyloidosis mimicking rheumatoid arthritis. | Katoh N | 内科(3) |
| J Peripher Nerv Syst | Non-senile wild-type transthyretin systemic amyloidosis presenting as bilateral carpal tunnel syndrome. | Kodaira M | 内科(3) |
| Amyloid | AL amyloidosis with spontaneous hepatic rupture: successful treatment by transcatheter hepatic artery embolization. | Naito K | 内科(3) |
| J Neurol Sci | Reversible extensive leukoencephalopathy in Sweet disease: A case report. | Fukushima K | 内科(3) |

小計15

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--------------------------|--|-----------------------|------------|
| Curr Pharm Des | Pathogenesis of and therapeutic strategies to ameliorate the transthyretin amyloidoses. | Sekijima Y | 内科(3) |
| Intern Med | An unusual case of Klippel-Trénaunay-Weber syndrome presenting with portosystemic encephalopathy. | Yazaki M | 内科(3) |
| Amyloid | Cerebral amyloid angiopathy-related hemorrhage in a middle-aged patient with Down's syndrome. | Naito K | 内科(3) |
| Neurosci Lett | Increased vulnerability to rotenone-induced neurotoxicity in ceruloplasmin-deficient mice. | Kaneko K | 内科(3) |
| Clin Exp Rheumatol | Analysis of peripheral blood lymphocytes using flow cytometry in polymyalgia rheumatica, RS3PE and early rheumatoid arthritis. | Shimojima Y | 内科(3) |
| Intern Med | Spinal Nerve Root Hypertrophy on MRI: Clinical Significance in the Diagnosis of Chronic Inflammatory Demyelinating Polyradiculoneuropathy. | Tazawa K | 内科(3) |
| Intern Med | Long-term follow-up of plasma cells in bone marrow and serum free light chains in primary systemic AL amyloidosis. | Yoshida T | 内科(3) |
| Peripheral Nerve 末梢神経 | Brachial plexopathy に対する免疫療法の治療効果に関する検討 | 内藤康介 | 内科(3) |
| 中部リウマチ | 生物学的製剤治療普及に向けての多施設共同成績調査-エタネルセプトの治療成績- | 高梨哲生 | 内科(3) |
| 中部リウマチ | 生物学的製剤治療普及に向けての多施設共同成績調査-インフリキシマブの治療成績- | 石井 亘 | 内科(3) |
| 中部リウマチ | RAによるAAアミロイドーシスにてエンブレル使用中にS状結腸の穿孔を認めた1例 | 岸田 大 | 内科(3) |
| Psychiatry Clin Neurosci | Establishing the cut-off point for the oppositional defiant behavior inventory. | Harada Y | 子どものこころ診療部 |
| Psychiatry Clin Neurosci | Prion disease causes less severe lesions in human hippocampus than other parts of brain. | Kaneko M, Sugiyama N, | 精神科 |
| Lipids | Molecular mechanism of age-specific hepatic lipid accumulation in PPAR α (+/-):LDLR(+/-) mice, an obese mouse model. | Sugiyama E | 精神科 |
| Psychiatry Clin Neurosci | Size variance of motor evoked potential at initiation of voluntary contraction in palsy of conversion disorder. | Amano N | 精神科 |

小計15

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|---|--------------|------|
| Psychogeriatrics | Changes in activities of daily living during treatment of late-life depression. | Saito H | 精神科 |
| Prim Care Companion J Clin Psychiatry | Prevention of deep vein thrombosis in a patient with delirium tremens. | Sasayama D | 精神科 |
| Psychogeriatrics | Contribution of perospirone and risperidone to reduce delirium in senile patients. | Ushijima M | 精神科 |
| J Clin Psychopharmacol | Five female cases of prolonged depression in chronic anorexia nervosa treated with selective estrogen receptor modulator raloxifene-augmented therapy. | Yokoyama S | 精神科 |
| Pediatric Transplantation | Low toxicity of a conditioning 8-Gy total body irradiation, fludarabine and cyclophosphamide as preparative regimen for allogeneic hematopoietic stem cell transplantation in pediatric | Yanagisawa R | 小児科 |
| Digestion | Propofol sedation for endoscopic procedures in patients 90 years of age and older. | Horiuchi A | 小児科 |
| ARTHRITIS & RHUMATISM | Anakinra Improves Sensory Deafness in a Japanese Patient With Muckle-Wells Syndrome, Possibly by Inhibiting the Cryopyrin Inflammasome. | Ymazaki T | 小児科 |
| British Journal of Haematology | Recent advances in the pathogenesis and management of juvenile myelomonocytic leukaemia. | Koike k | 小児科 |
| Oncogene | Stress via p53 pathway cause apoptosis by mitochondrial Noxa upregulation in doxorubicin-treated neuroblastoma cells. | Kurata K | 小児科 |
| Human Immunology | Interleukin-21 stimulates B-cell immunoglobulin E synthesis in human beings concomitantly with activation-induced cytidine deaminase expression and differentiation into plasma cells. | Kobayashi S | 小児科 |
| Neonatology | Non-Pathogenic Bacterial Flora May Inhibit Colonization By Methicillin-Resistant Staphylococcus aureus in Extremely Low Birth Weight Infants. | Shimizu A | 小児科 |
| American Journal of Medical Genetics Part A 146A | Bilateral Perisylvian Polymicrogyria, Periventricular Nodular Heterotopia, and Left Ventricular Noncompaction in a Girl With 10.5-11.1Mb Terminal Deletion of | Saito S | 小児科 |
| Pediatr Transplant | Urinary excretion of ganciclovir contributes to improvement of adenovirus-associated hemorrhagic cystitis after allogeneic bone marrow transplantation. | Nakazawa Y | 小児科 |
| J Med Genet | Neurodevelopmental abnormalities associated with severe congenital neutropenia due to the R86X mutation in the HAX1 gene. | Ishikawa N | 小児科 |
| Cellular Immunology | Distinct response in maintenance of human naïve and memory B cell via IL-21 receptor and TCL1/Akt pathways. | Nagumo H | 小児科 |

小計15

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|-------------------------------|---|-------------|------|
| Pediatr Res | Correlation of clinical features with the mutational status of GM-CSF signaling pathway-related genes in juvenile myelomonocytic leukemia. | Yoshida N | 小児科 |
| Internal Medicine | Long-term Follow-up of Plasma Cells in Bone Marrow and Serum Free Light Chains in Primary Systemic AL Amyloidosis. | Yoshida T | 小児科 |
| Haematologica | neurodegenerative central nervous system diseases as late sequelae of Langerhans cell histiocytosis. Report from the Japan LCH Study Group. | Imashuku S | 小児科 |
| J Physiol | Network hyperexcitability within the deep layers of the pilocarpine-treated rat entorhinal cortex. | Guzmán P | 小児科 |
| Pediatr Gastroenterol Nutr | Re: Frosbite of the esophageal ulcer or inlet patch? | Horiuchi A | 小児科 |
| Clin Gastroenterol Hepatology | Hepatic ultrasound appearance and colonoscopic finding of Schistosomiasis japonica. | Horiuchi A | 小児科 |
| Endoscopy | Prospective randomized trial comparing the direct method using a 24Fr bumper-button-type device with the pull method for percutaneous endoscopic gastrostomy. | Horiuchi A | 小児科 |
| Digestion | Safety and driving ability following low-dose propofol sedation. | Horiuchi A | 小児科 |
| Eur J Med Res | First case of bacteremia due to chromosome-encoded CfxA3- β -lactamase-producing <i>Capnocytophaga sputigena</i> in a pediatric patient with acute erythroblastic anemia. | Matsumoto T | 小児科 |
| 小児内科 | 特集 自己免疫疾患—病態と治療〈自己抗体検査〉抗核抗体 | 山崎崇志 | 小児科 |
| 臨床婦人科産科 | 新生児の蘇生と管理「分娩室での蘇生3」羊水混濁時の対応 | 赤澤陽平 | 小児科 |
| 小児科 | 家族性地中海熱の診断と治療 一周辺疾患との関連— | 山崎崇志 | 小児科 |
| Helicobacter Research | 小児のHelicobacter pylori感染における話題. | 中山佳子 | 小児科 |
| Helicobacter Research | 小児におけるHelicobacter pylori感染の内視鏡像の特徴. | 中山佳子 | 小児科 |
| 小児科臨床 | 小児の過敏性腸症候群の対応. | 中山佳子 | 小児科 |

小計15

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|----------------------------|--|-------------|-------|
| 消化器科 | H. pylori除菌治療の小児への適応拡大. | 中山佳子 | 小児科 |
| 小児内科 | 分類不能型免疫不全症 | 山崎崇志 | 小児科 |
| 小児感染免疫 | 感染症の鑑別としての自己炎症疾患 | 上松一永 | 小児科 |
| Arch Dermatol. | Anatomic transitions and the histopathologic features of melanocytic nevi. | Saida T | 皮膚科 |
| Jap J ClinOncol | A Pilot Study of Human Interferon β Gene Therapy for Patients with Advanced Melanoma by in vivo Transduction Using Cationic Liposomes . | Matsumoto K | 皮膚科 |
| Arch Dermatol Res | Interferon β therapy for malignant melanoma: the dose is crucial for inhibition of proliferation and induction of apoptosis of melanoma cells . | Kubo H | 皮膚科 |
| Pigment Cell Melanoma Res | Downregulated melanogenic paracrine cytokine linkages in hypopigmented palmoplantar skin. | Hasegawa J | 皮膚科 |
| Int J Cancer | Pathological activation of KIT in acral and mucosal melanomas. | Ashida A | 皮膚科 |
| Cancer Res | NADPH oxidase (Nox) 4 contribute to transformation phenotype of melanoma cells by regulating G2-M cell cycle progression. | Yamaura M | 皮膚科 |
| Skin Cancer | 有棘細胞癌の診療ガイドライン | 宇原 久 | 皮膚科 |
| Jpn J Clin Oncol | Relationship between the response to treatment and the prognosis of patients with aggressive lymphomas treated with chemotherapy followed by involved-field radiotherapy: radiographic | Sasaki S | 放射線科 |
| Radiat Med | Lymphoscintigraphy using technetium-99m HSA-DTPA with SPECT/CT in chylothorax after childbirth. | Momose M | 放射線科 |
| Eur J Nucl Med Mol Imaging | Camurati-Engelmann disease on a 99m-Tc-HMDP bone scan. | Momose M | 放射線科 |
| Lab Invest. | Characterization of pancreatic ductal cells in human islet preparations. | Mita A. | 外科(1) |
| Transplant Proc. | Arterial reconstruction in a case of subintimal dissection of celiac arterial tributaries in living donor liver transplantation: a case report. | Ikegami T | 外科(1) |

小計15

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--------------------------------|---|-------------|-------|
| Int J Colorectal Dis. | Surgical treatment for anorectal malignant melanoma: report of five cases and review of 79 Japanese cases. | Ishizone S | 外科(1) |
| J Hepatobiliary Pancreat Surg. | Prognostic impact of anatomical resection on early and late intrahepatic recurrence in patients with hepatocellular carcinoma. | Kobayashi A | 外科(1) |
| Esophagus | Signet ring cell carcinoma of the esophagus treated by video-assisted surgery: report of a case. | Koide N | 外科(1) |
| Oncogene. | NADPH oxidase 1 plays a critical mediating role in oncogenic Ras-induced vascular endothelial growth factor expression. | Komatsu D | 外科(1) |
| Carcinogenesis. | one marrow-derived cells fuse with hepatic oval cells but are not involved in hepatic tumorigenesis in the choline-deficient ethionine-supplemented diet rat model. | Kubota K | 外科(1) |
| Transplant Proc. | Effect of human islet rescue gradient purification on islet yield and fractional Beta cell viability. | Mita A | 外科(1) |
| Transpl Int. | Nonsurgical policy for treatment of bilioenteric anastomotic stricture after living donor liver transplantation. | Mita A | 外科(1) |
| Transplantation. | Anti-proinflammatory effects of sirolimus on human islet preparations. | Mita A | 外科(1) |
| Hepatogastroenterology. | Identification of genes associated with multiple nodules in hepatocellular carcinoma using cDNA microarray: multicentric occurrence or intrahepatic metastasis? | Nakata T | 外科(1) |
| J Clin Gastroenterol. | Primary liver carcinoma exhibiting dual hepatocellular-biliary epithelial differentiations associated with citrin deficiency: a case report. | Soeda J | 外科(1) |
| Transplant Proc. | β -Cell specific cytoprotection by prolactin on human islets. | Mita A | 外科(1) |
| Transplantation. | Potential feasibility of early bone marrow cell injection into the spleen for creating functional hepatocytes. | Misawa R. | 外科(1) |
| Hepatol Res. | A case of well-differentiated cholangiolocellular carcinoma visualized with contrast-enhanced ultrasonography using Sonazoid. | Yokoyama T. | 外科(1) |
| J Hepatobiliary Pancreat Surg. | Clinical and pathological features of primary carcinoma of the cystic duct. | Nakata T | 外科(1) |
| 日本消化器外科学会雑誌 | アラジール症候群と診断され長期経過観察中の患者に発生した肝細胞癌の1例 | 増田雄一 | 外科(1) |

小計15

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|-----------------------------|---|-----------|-------|
| Expert Opin Biol Ther. | Changes in angiogenesis-related factors in serum following autologous bone marrow cell implantation for severe limb ischemia. | Tachi Y | 外科(2) |
| J Natl Cancer Inst | CHD5, a Tumor Suppressor Gene Deleted From 1p36.31 in Neuroblastomas. | Fujita T | 外科(2) |
| Int J Oncol. | Identification of novel deletion polymorphisms in breast cancer. | Komatsu A | 外科(2) |
| ANZ J Surg. | Endoscopic-assisted skin-sparing mastectomy combined with sentinel node biopsy. | Ito K | 外科(2) |
| Gen Thorac Cardiovasc Surg. | Pulmonary torsion of the lingula following a segmentectomy of the left upper division. | Eguchi T | 外科(2) |
| 救急・集中治療 | 甲状腺疾患(クリーゼを含む) | 浜 善久 | 外科(2) |
| 救急・集中治療 | 胸・腹部大動脈解離(瘤)の非大血管手術 | 福井大祐 | 外科(2) |
| 日本臨床 | 組換えピフィズス菌製剤を用いた乳癌の腫瘍選択的治療 | 藤森 実 | 外科(2) |
| 冠疾患誌 | 超高齢者(80歳以上)に対する冠動脈外科治療戦略とその成績 | 天野 純 | 外科(2) |
| 肺癌 | 原発性肺癌切除例における他臓器重複癌の検討 | 近藤竜一 | 外科(2) |
| 日本臨床外科学会雑誌 | 肺腫瘍切除術後に発生した胸壁デスマイオイド腫瘍の1例 | 有村隆明 | 外科(2) |
| 日本臨床外科学会雑誌 | 上皮小体機能亢進症とMEN1型合併胸腺カルチノイドに対する同時手術の1例 | 加藤響子 | 外科(2) |
| 胸部外科 | 短期間に緊急手術を繰り返したMarfan症候群 | 天野 純 | 外科(2) |
| 日本臨床外科学会雑誌 | 乳癌にたいする蛍光・色素併用法によるセンチネルリンパ節生検の適応の検討 | 花村 徹 | 外科(2) |
| 別冊日本臨床 新領域別症候群シリーズ | 呼吸器症候群(第2版)Ⅲ-その他の呼吸器疾患を含めて- Ⅶ 腫瘍性疾患 B.間葉系(原発性)腫瘍 弾性線維腫・線維腫 | 吉田和夫 | 外科(2) |

小計15

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|-------------------------|--|--------------------|-------|
| Spine | Assessment of cervical myelopathy using transcranial magnetic stimulation and prediction of prognosis after laminoplasty. | Takahashi Jun | 整形外科 |
| J Biomechanics | Analysis of the Gliding Pattern of the Canine Flexor Digitorum Profundus Tendon through the A2 Pulley. | Uchiyama Shigeharu | 整形外科 |
| J Orthop Sci | Cerebellar hemorrhage after spine surgery: case report and literature review. | Hashidate Hiroyuki | 整形外科 |
| J Hand Surg | Extensor Tendon Rupture Associated with Osteoarthritis of the Distal Radioulnar Joint. | Yamazaki Hiroshi | 整形外科 |
| Small | Carbon nanotubes with high bone-tissue compatibility and bone-formation acceleration effects. | Usui Yuki | 整形外科 |
| Curr Med Chem | Carbon nanotubes for biomaterials in contact with bone. | Saito Naoto | 整形外科 |
| Surgical Neurology | Surgery for thoracic myelopathy caused by ossification of the ligamentum flavum. | Hirabayashi Hiroki | 整形外科 |
| J Hand Surg | Median nerve and ulnar nerve palsy caused by calcium pyrophosphate dihydrate crystal deposition disease: case report. | Yamazaki Hiroshi | 整形外科 |
| J Hand Surg Eur | Extensor tendon rupture associated with osteoarthritis of the distal radioulnar joint. | Yamazaki Hiroshi | 整形外科 |
| J Hand Surg Eur | Results of tenolysis for flexor tendon adhesion after phalangeal fracture. | Yamazaki Hiroshi | 整形外科 |
| Hand Surg | Delayed rupture of flexor tendons caused by protrusion of a screw head of a volar plate for distal radius fracture: a case report. | Yamazaki Hiroshi | 整形外科 |
| Plast Reconstr Surg | Importance of early passive mobilization following double free gracilis muscle transfer. | Doi K | 整形外科 |
| Arch Orthop Trauma Surg | Dedifferentiated chondrosarcoma arising in a solitary osteochondroma with leiomyosarcomatous component: a case report. | Akahane Tsutomu | 整形外科 |
| Curr Med Chem | Carbon nanotubes for biomaterials in contact with bone. | Saito Naoto | 整形外科 |
| J Neurosurg | Staple electrodes: an innovative alternative for intraoperative electrophysiological monitoring. | Goto T | 脳神経外科 |

小計15

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|-----------------------------------|---|------------|-----------|
| Surg Neurol | Intraoperative angiography through the occipital artery and muscular branch of the vertebral artery: technical note. | Horiuchi T | 脳神経外科 |
| Neurosurg Rev | Emergency revascularization for acute main-trunk occlusion in the anterior circulation. | Sakai K | 脳神経外科 |
| Purinagic Signal (Suppl 1) | Role of adenosine A2a receptor in regulation of cerebral blood flow during induced dynamic hypotension. | Kusano Y | 脳神経外科 |
| Surg Neurol | Horizontal contralesional approach for the distal anterior cerebral artery aneurysm: Technical note. | Horiuchi T | 脳神経外科 |
| Int J Oral Maxillofacial Implants | Dental rehabilitation using an implant-carrying plate system in a severely resorbed edentulous maxilla. | Kurita H | 特殊歯科・口腔外科 |
| Journal of Postgraduate Medicine | Temporomandibular joint skeletal morphology in children and adults. | Kurita H | 特殊歯科・口腔外科 |
| Pathol Oncol Res | Intraoperative Tissue Staining of Invaded Oral Carcinoma. | Kurita H | 特殊歯科・口腔外科 |
| Oral Oncology | Accuracy of intraoperative tissue staining in delineating deep surgical margins in oral carcinoma surgery. | Kurita H | 特殊歯科・口腔外科 |
| 信州医誌 | 顎関節脱臼に関する臨床的検討 | 遠山周明 | 特殊歯科・口腔外科 |
| 信州医誌 | 口蓋床により嚥下機能が改善した口腔底癌の1例 | 遠山 牧 | 特殊歯科・口腔外科 |
| J Appl Physiol | Head-down tilt posture elicits transient lymphocyte mobilization from the iliac, but not mesenteric, lymph nodes of rats. | Suzuki S | 特殊歯科・口腔外科 |
| 有病者歯科医療 | 上顎癌の術後放射線治療中に生じた動脈血栓症の1例. | 長汐沙千穂 | 特殊歯科・口腔外科 |
| 日口外誌 | 顎放線菌症を併発した下顎切痕部の含菌性嚢胞の1例. | 飯島 響 | 特殊歯科・口腔外科 |
| Acta Otolaryngol | The responsible genes in Japanese deafness patients and clinical application using Invader assay. | Usami, S | 耳鼻咽喉科 |
| Neuroscience | The localization of proteins encoded by CRYM, KIAA1199, UBA52, COL9A3, and COL9A1, genes highly expressed in the cochlea. | Usami, S | 耳鼻咽喉科 |

小計15

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--------------------|---|-------------|-------|
| Laryngoscope | Pre-Baha operation three dimensional computed tomography with markers for determining optimal implant site. | Takumi, Y | 耳鼻咽喉科 |
| Hum Mutat | Mutation profile of the CDH23 gene in 56 probands with Usher syndrome type I. | Oshima, A | 耳鼻咽喉科 |
| Neonatal care | 新生児聴覚スクリーニングで発見された児の治療フォローアップ | 宇佐美真一 | 耳鼻咽喉科 |
| Audiology Japan | 平成12.13年度登録の急性低音障害型感音難聴症例の平成19年時点での経過調査(厚生労働科学研究難治性疾患研究事業による急性高度難聴に関する調査研究) | 川島慶之 | 耳鼻咽喉科 |
| 耳鼻臨床 | 気管内挿管下にOK-432硬化療法を行った乳児嚢胞状リンパ管腫 | 茂木英明 | 耳鼻咽喉科 |
| 新薬と臨床 | 通年性アレルギー性鼻炎に対するエバスチンの有効性-日本アレルギー性鼻炎標準QOL調査票(JRQLQ)を用いた検討- | 塚田景大 | 耳鼻咽喉科 |
| 耳鼻咽喉科展望 | 側頭骨実習前の側頭骨シミュレーター「VOXEL-MAN TempoSurg」の有用性の検討 | 福岡久邦 | 耳鼻咽喉科 |
| 耳鼻咽喉科展望 | 耳鼻咽喉科領域におけるナビゲーション手術-その適応と基準づくりに向けて- | 工 穰 | 耳鼻咽喉科 |
| 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 | 2.めまい・平衡障害を主訴とする疾患. 1) メニエール病 | 工 穰 | 耳鼻咽喉科 |
| 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 | 3.小児難聴児への対応-難聴遺伝子診療外来、人工内耳センター、難聴児支援センターにおけるチーム医療- | 宇佐美真一 | 耳鼻咽喉科 |
| 耳鼻臨床 | 難聴の遺伝カウンセリング-先進医療としての「先天性難聴の遺伝子診断」をふまえて- | 宇佐美真一 | 耳鼻咽喉科 |
| Acta Otolaryngol | Endolymphatic hydrops and therapeutic effects are visualized in 'atypical' Meniere's disease. | Miyagawa, M | 耳鼻咽喉科 |
| Auris Nasus Larynx | Chondrosarcoma of the nasal septum: A case report. | Kainuma, K | 耳鼻咽喉科 |
| Equilibrium Res | 電子カルテ上でのめまい診療-眼振記録の管理を中心に- | 工 穰 | 耳鼻咽喉科 |

小計14

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|---|-------------|-------|
| MB ENTONI | 難聴とウイルス感染 | 宇佐美真一 | 耳鼻咽喉科 |
| 形成外科 | 【外科系医師のための『創傷外科』update】創傷外科各論 急性創傷 特殊な外傷 凍傷(解説/特集) | 藤田研也 | 形成外科 |
| 形成外科 | 【耳介変形の治療update】埋没耳形成術(解説/特集) | 杠俊介 | 形成外科 |
| 眼科プラクティス | 【外眼部手術と処置】眼瞼の手術と処置 眼瞼下垂・前頭筋吊り上げ術(解説/特集) | 松尾清 | 形成外科 |
| 形成外科 | 遊離広背筋弁採取部に生じたchronic expanding hematomaの1例 | 菅谷文彦, | 形成外科 |
| 形成外科 | 前胸部皮下腫瘍の様相を呈した肩鎖関節ガングリオンの1例 | 篠原洋 | 形成外科 |
| 形成外科 | 熱傷手術におけるtumescent techniqueの有用性 | 深澤大樹 | 形成外科 |
| J Plast Reconstr Aesthet Surg. | A transverse ligament located anterosuperiorly in the lower orbital fat space restricts lower eyelid retraction in the Mongoloid eye. | Matsuo K | 形成外科 |
| Scand J Plast Reconstr Surg Hand Surg. | Facial reanimation by transposition of the masseter muscle combined with tensor fascia lata, using the zygomatic arch as a pulley. | Shinohara H | 形成外科 |
| J Burn Care Res. | The practical procedure of tumescent technique in burn surgery for excision of burn eschar. | Fujita K | 形成外科 |
| Plast Reconstr Surg. | Asymmetrical bilateral cleft lip: complete or incomplete and contralateral lesser defect (minor-form, microform, or mini-microform). | Yuzuriha S | 形成外科 |
| Plast Reconstr Surg. | Minor-form, microform, and mini-microform cleft lip: anatomical features, operative techniques, and revisions. | Yuzuriha S | 形成外科 |
| J Plast Reconstr Aesthet Surg. | Reflexive contraction of the levator palpebrae superioris muscle to involuntarily sustain the effective eyelid retraction through the transverse trigeminal proprioceptive nerve on the proximal Mueller's muscle: verification with evoked electromyography. | Ban R | 形成外科 |
| J Plast Reconstr Aesthet Surg. | Refined distribution of myelinated trigeminal proprioceptive nerve fibres in Mueller's muscle as the mechanoreceptors to induce involuntary reflexive contraction of the levator and frontalis | Yuzuriha S | 形成外科 |
| J Plast Reconstr Aesthet Surg. | Frontalis suspension with fascia lata for severe congenital blepharoptosis using enhanced involuntary reflex contraction of the frontalis muscle. | Matsuo K | 形成外科 |

小計15

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--------------------------------|--|-------------|------|
| J Plast Reconstr Aesthet Surg. | Dear Drs. Kakizaki, Malhotra and Selva. | Matsuo K | 形成外科 |
| Eur J Plast Surg | Limited distribution of gravitation abscess caused by infected preauricular sinus depends on anatomical structure. | R Ban | 形成外科 |
| J Plast Reconstr Aesthet Surg. | Extensor gliding tissue reconstruction with an adipofascial flap based on a dorsal branch of the digital artery. | Fujita K | 形成外科 |
| J Plast Reconstr Aesthet Surg. | Long-term results of nail fusion plasty of the duplicated thumb. | Mishima Y | 形成外科 |
| Basic Clin Pharmacol Toxicol. | Mechanisms of preventive effect of nicorandil on ischaemia-induced ventricular tachyarrhythmia in isolated arterially perfused canine left ventricular wedges. | Yano S | 形成外科 |
| 日本臨床 | NO吸入療法 | 岡元和文 | 救急科 |
| Bas Clin Pharmacol Toxicol | Mechanisms of Preventive Effect of Nicorandil on Ischemia-Induced Ventricular Tachyarrhythmia in Isolated Arterially Perfused Canine Left Ventricular Wedges. | Imamura H | 救急科 |
| ICUとCCU | 軟部組織の感染制御を主目的とした高気圧酸素療法の応用 | 堂籠 博 | 救急科 |
| Signa Vitae | Early morning upper airway discomfort and appearance on two X ray films. | Dohgomori H | 救急科 |
| Signa Vitae | Difficult airway management in the emergency room using an airway scope. | Dohgomori H | 救急科 |
| 脳卒中 | 救急初療室で急性期脳梗塞を合併する急性大動脈解離を鑑別する | 岩下具美 | 救急科 |
| Medical Postgraduates | Simultaneous occurrence of traumatic primary subependymal hemorrhage in a traumatic accident. | Iwashita T | 救急科 |
| 救急・集中治療 | 敗血症による急性肺傷害 (ALI) / 急性呼吸促迫症候群 (ARDS) | 菊池忠 | 救急科 |
| 救急・集中治療 | 脳卒中(脳梗塞、脳出血、くも膜下出血)の非頭部手術、合併疾患別にみる周術期管理. 研修医からの質問362 | 岩下具美 | 救急科 |
| 人工呼吸と疼痛管理 | 人工呼吸と疼痛管理 | 柴田 純平 | 救急科 |

小計15

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|-----------------------|--|-------------|--------|
| Scand J Gastroenterol | Quantitative analysis of the effect of Helicobacter pylori on the expressions of SOX2, CDX2, MUC2, MUC5AC, MUC6, TFF1, TFF2, and TFF3 mRNAs in human gastric carcinoma | Matsuda K | 臨床検査部 |
| Clin Chim Acta | Sialic acid moiety of apolipoprotein E3 at Thr(194) affects its interaction with beta-amyloid(1-42) peptides. | Sugano M | 臨床検査部 |
| J Clin Lab Anal | Liver function tests in patients with bacteremia. | Kanai S | 臨床検査部 |
| Pathol Int | Autoimmune pancreatitis-associated prostatitis: distinct clinicopathological entity. | Uehara T | 臨床検査部 |
| Eur J Med Res | First case of bacteremia due to chromosome-encoded CfxA3- β -lactamase-producing Capnocytophaga sputigena in a pediatric patient with acute erythroblastic leukemia. | Matsumoto T | 臨床検査部 |
| Clin Biochem | Specific, rapid, and sensitive enzymatic measurement of sphingomyelin, phosphatidylcholine and lysophosphatidylcholine in serum and lipid extracts. | Hidaka H | 臨床検査部 |
| Medical Technology | 新しい亜鉛測定法 | 菅野光俊 | 臨床検査部 |
| 検査と技術 | フィブリノゲン | 奥村伸生 | 臨床検査部 |
| 産婦人科の実際 | 感染対策チーム (ICT) とその役割 | 金井信一郎 | 臨床検査部 |
| 臨床病理 | ウェスタンブロット法によるDダイマー測定試薬の反応性の比較検討 | 若林早紀 | 臨床検査部 |
| 臨床免疫・アレルギー科 | Helicobacter pylori感染による胃病変形成とIL-18 | 山内一由 | 臨床検査部 |
| 臨床血液 | 骨髄移植後のキメリズム解析を不可能にした再発時付加染色体異常 | 樋口由美子 | 臨床検査部 |
| J Peripher Nerv Syst | Non-senile wild-type transthyretin systemic amyloidosis presenting as bilateral carpal tunnel syndrome. | Kodaira M | 遺伝子診療部 |
| Amyloid | Cerebral amyloid angiopathy-related hemorrhage in a middle-aged patient with Down's syndrome. | Naito K | 遺伝子診療部 |
| Curr Pharm Des | Pathogenesis of and therapeutic strategies to ameliorate the transthyretin amyloidoses. | Sekijima Y | 遺伝子診療部 |

小計15

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|------------------|--|---------|--------|
| Muscle Nerve | Amyloidogenic transthyretin Val30Met homozygote showing unusually early-onset familial amyloid polyneuropathy. | Tojo K | 遺伝子診療部 |
| Clin Dysmorphol | De-novo balanced translocation between 7q31 and 10p14 in a girl with central precocious puberty, moderate mental retardation, and severe speech impairment. | Kosho T | 遺伝子診療部 |
| Am J Med Genet A | Invited Comment: Care of children with trisomy 18 in Japan. | Kosho T | 遺伝子診療部 |
| Am J Med Genet A | Bilateral Perisylvian Polymicrogyria, Periventricular Nodular Heterotopia, and Left Ventricular Noncompaction in a girl with 10.5-11.1 Mb Terminal Deletion of 1p36. | Saito S | 遺伝子診療部 |
| 末梢神経 | 手根管症候群を呈した野生型トランスサイレチンアミロイドーシス4例の臨床像の検討 | 小平農 | 遺伝子診療部 |

小計5

計 274

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入するこ

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

| | |
|---------|---|
| 管理責任者氏名 | 病院長 小池 健一 |
| 管理担当者氏名 | 副病院長 (事務担当) 佐伯 隆二 総務課長 寺坂 和記, 経営企画課長 久保田 達夫 医事課医長 古澤 正治 |

| | | 保管場所 | 分類方法 |
|--|--|------------|-------------------------------------|
| 診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書 | | 総務課及び各診療科 | ・カルテ、エックス線写真、検査所見記録は、電子カルテにて保存している。 |
| 病院の管理及び運営に関する諸記録 | 従業者数を明らかにする帳簿 | 総務課 | |
| | 高度の医療の提供の実績 | 医事課 | |
| | 高度の医療技術の開発及び評価の実績 | 経営企画課 | |
| | 高度の医療の研修の実績 | 総務課 | |
| | 閲覧実績 | 総務課 | |
| | 紹介患者に対する医療提供の実績 | 医事課 | |
| | 入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿 | 医事課 薬剤部 | |
| 確規保則の第9条の2及び第1条の1各号に掲げる体制 | 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況 | 総務課 | |
| | 専任の院内感染対策を行う者の配置状況 | 総務課 | |
| | 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 | 医事課 | |
| | 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況 | 医事課 | |
| | 医療に係る安全管理のための指針の整備状況 | 医事課 | |
| | 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 | 医事課 | |
| | 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 | 医事課 | |
| | 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況 | 医事課 | |

| | | 保管場所 | 分類方法 |
|------------------|---|---|-------|
| 病院の管理及び運営に関する諸記録 | 規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況 | 院内感染のための指針の策定状況 | 安全管理部 |
| | | 院内感染対策のための委員会の開催状況 | 安全管理部 |
| | | 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況 | 安全管理部 |
| | | 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況 | 安全管理部 |
| | | 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況 | 安全管理部 |
| | | 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況 | 安全管理部 |
| | | 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況 | 安全管理部 |
| | | 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | 安全管理部 |
| | | 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況 | 安全管理部 |
| | | 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況 | 安全管理部 |
| | | 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況 | 経営企画課 |
| | 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | 安全管理部 | |

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

| | |
|-------------|--|
| 閲覧責任者氏名 | 病院長 小池 健一 |
| 閲覧担当者氏名 | 副病院長 (事務担当) 佐迫 隆二 総務課長 寺坂 和記, 経営企画課長 久保田 達夫 医事課長 古澤 正治 |
| 閲覧の求めに応じる場所 | 総務課 |

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

| | | | | |
|-----------|--------|---|---|---|
| 前年度の総閲覧件数 | 延 | 0 | 件 | |
| 閲覧者別 | 医師 | 延 | 0 | 件 |
| | 歯科医師 | 延 | 0 | 件 |
| | 国 | 延 | 0 | 件 |
| | 地方公共団体 | 延 | 0 | 件 |

○紹介患者に対する医療提供の実績

| | | | |
|------|------------------------|------|----------------------|
| 紹介率 | 74.0% | 算定期間 | 平成20年4月1日～平成21年3月31日 |
| 算出根拠 | A: 紹介患者の数 | | 11,130人 |
| | B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数 | | 11,234人 |
| | C: 救急用自動車によって搬入された患者の数 | | 1,089人 |
| | D: 初診の患者の数 | | 20,444人 |

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に 100 を乗じて小数点以下第 1 位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

| | |
|---|---------------|
| ① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況 | 有 (2 名) ・ 無 |
| ② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況 | 有 (2 名) ・ 無 |
| ③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 | 有 ・ 無 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 所属職員： 専任 (2) 名 兼任 (19) 名・ 活動の主な内容： インシデントレポートの分析・事実確認・医療事故等の判定 医療の安全管理のための職員研修に関すること 医療の安全管理を推進するための啓発活動 | |
| ④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況 | 有 ・ 無 |
| ⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況 | 有 ・ 無 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容： 医療におけるリスクマネジメントの目的 組織としての医療事故防止への取り組み 医療事故防止のための教育システムの整備 医療事故の管理体制と報告 | |
| ⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 | 年 1 2 回 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容： 医療事故防止対策の推進 医療事故の原因究明及び再発防止策の検討 医療事故への対応の検討 医療事故防止のための教育及び研修 | |
| ⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 | 年 2 4 回 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容： 新規採用者に対する基本的事項をテーマとする研修 医療器機 (輸液ポンプ、生体モニター等) の安全な取り扱い 模擬事例による検討会 部署医療安全管理者対象の医療事故発生時の対応ロールプレイ 体外式除細動器 (A E D) 取り扱い | |
| ⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況 | |
| <ul style="list-style-type: none">・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) 無)・ その他の改善のための方策の主な内容： 院内の関連会議での自院及び他病院の事例の紹介 (情報共有) による注意喚起 研修会とは別に各部署での解決課題に対する取り組みをまとめた収録集を作成、配布 講演会の実施 医療事故防止マニュアルの作成・見直し | |

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

| | |
|---|-------|
| ① 院内感染対策のための指針の策定状況 | (有)・無 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 院内感染対策に関する基本的な考え方 感染制御室運営委員会の設置 感染対策に関する職員研修 院内感染発生時の対応 医療関連感染対策ガイドライン 患者等に対する当該指針の閲覧及び情報提供と説明に関する基本方針 | |
| ② 院内感染対策のための委員会の開催状況 | 年12回 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 院内感染に関するサーベイランス 院内感染に関する啓発及び職員研修の企画 院内感染防止のためのガイドライン・マニュアルの整備 感染症アウトブレイクが発生した場合の速やかな調査及び対策、職員への周知徹底 職員・患者等に対する感染対策に関する広報 その他感染に関する事項の検討、決定 | |
| ③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況 | 年20回 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 院内感染対策の基本的考え方及び具体的対策について知識の向上と周知徹底を図る。 ○全職員、全職種を対象とした研修会 ○新採用職員（研修医、看護師、コメディカル）を対象とした研修会 ○リンクスタッフを対象とした研修会 ○病院委託業者を対象とする研修会 | |
| ④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有)・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 「医療関連感染対策ガイドライン」の改訂 感染対策チームによる院内ラウンドの実施、コンサルテーション 耐性菌、デバイス関連感染サーベイランスの実施、対象部署へのフィードバック 職員の血液・体液曝露サーベイランスの実施、情報提供 患者又は家族への感染に関わる情報を提供、共有し、理解を得た上で協力を求める。 | |

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

| | |
|---|-------|
| ① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況 | (有)・無 |
| ② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況 | 年 4回 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 医薬品を安全に使用するための基本的な注意事項 疼痛コントロールに用いる薬剤の基本的な使い方 薬剤性アナフィラキシーショックの実態と対策 簡易懸濁法導入への取り組みと注意点 抗がん剤の安全な取扱い、調整方法 麻薬の安全かつ適正な管理方法 | |
| ③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 ((有)・無) ・ 業務の主な内容： 医薬品の採用・購入手順に基づいた薬事委員会の開催および適正購入の実施 医薬品管理手順に基づいた医薬品の購入および麻薬、向精神薬、毒薬、劇薬、特定生物由来製 品等の適正管理の実施 患者に対する安全な医薬品供給のための調剤、交付、過誤防止、薬剤管理指導等の実施 医薬品情報の収集および提供の実施 等 | |
| ④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 ((有)・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医薬品安全管理に係る内容の見直しおよび医薬品安全管理のための業務手順書の順次改訂と 院内への周知徹底 医薬品の安全管理に係る必要研修内容の調査・検討と実施 医薬品の安全使用のための情報提供方法の工夫 (allメールによる全職員への配信、院内向け薬剤部ホームページへの掲示、各診療科・病棟 への書面による通知、添付文書内容はDICSより診療端末にて閲覧可能なシステムの構築) | |

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

| | |
|--|-------|
| ① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況 | (有) 無 |
| ② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況 | 年20回 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 輸液ポンプ・シリンジポンプ技術研修 人工呼吸器の取り扱い 基本・中級編 新規機器の導入時の研修 その他特定機能病院に係る医療機器（人工心肺および補助装置、血液浄化装置、除細動器、閉鎖式保育器、放射線治療装置）の点検及び研修 | |
| ③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定 ((有)・無) ・ 保守点検の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 年1回を基本とした定期点検 消耗品交換・動作確認・漏電チェック等 | |
| ④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ((有)・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> HPへの掲載 部署リスクマネージャー会議での連絡 研修会でのアンケート結果による研修内容の見直し 納入業者へ納入医療機器の情報提供の依頼 医療機器安全管理情報フローチャートの整備 | |